



エコナビスタ
梶本修身社長

エコナビスタ
梶本修身社長
（東京都千代田区）は、複数のセンサーを使い居室内の高齢者を見守るクラウド型サービスを開発。家族や介護者に通信機器を通じてリアルタイムに体調の急変を知らせ、事故を未然に防ぐ。カメラを使わずにプライバシーも確保する。高齢者施設や医療機関に対して販売促進を図る。

センサーで健康見守り

エコナビスタ（東京都千代田区）は、複数のセンサーを使い居室の高齢者を見守るクラウド型サービスを開発。家族や介護者に通信機器を通じてリアルタイムに体調の急変を知らせ、事故を未然に防ぐ。カメラを使わずにプライバシーも確保する。高齢者施設や医療機関に対して販売促進を図る。

のマットレス下に設置
するセンサー・マット
(体動マット)、人感セ
ンサー、温湿度センサ
ーで構成。対象者の睡
眠から活動、室内環境
までを計測する。室内
ネットワーク環境は不
要。配線はセンサー・マ
ットへの電源1本のみ

で、特別な設置工事や
専用サービスは必要な
く、取り付け後すぐに
使用できる。有線LA
Nにも対応する。

センサー・マットが取
得する睡眠データは、
入眠时刻、觉醒时刻、
睡眠深度、心拍数、呼
吸数、無呼吸回数・時
間、在床、離床など。
人感センサーによる動
体検知、活動時間、ド

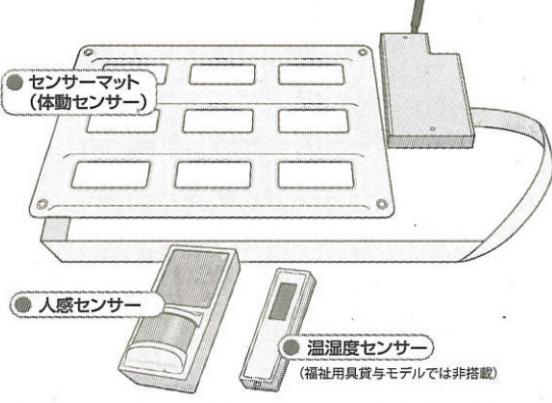
アの開閉などの活動データとともに、1分ごとに情報をクラウドに送信。リアルタイムに生体情報を解析する。

認知症徘徊検知機器として、介護保険でレジタルが可能（要介護

2以上が対象）。利用料は介護保険の1割負担で月額1500～1800円。その他、通

医療・介護
トレンド

睡眠・活動量・温湿度“見える化”



徘徊などの状態を音やメールで通知

得したデータは専門クリニックで解析。パソコンやスマートフォンで“見える化”することで、1日の変化だけではなく、1ヵ月単位での変化も把握できる。設定数値を上回るとアラートやアイコンで知らせ。徘徊を音やメールで通知できるため、外出中でも携帯のスマートフォンで確認ができる。

日々の詳細な情報をもとに健康レポートを作成。生体・生活環境情報を解析したうえで、利用者や家族に毎月作成。健康に過ごすための情報と手元のホームシステムコンソールの開発に着手。創業以前から疲労のメカニズムの解明や疲労バイオマーカーの開発に携わった。